

井尻商店街振興組合

どんな商店街？

高木校区内に位置し、西鉄天神大牟田線の駅として5番目（普通のみ停車駅では1位）に乗降客数が多い井尻駅を中心とした商店街です。

来街者は常連の中高齢者層を中心ですが、現在、広報強化を図り、若年層の来街誘致を進めています。



商店街の魅力を広く伝えるために

1. 商店街の課題

年間を通じて「ふれあいマルシェ」としてイベントを開催（計15回）していますが、毎回来街誘致に苦慮をしています。今後は、単体での開催ではなく、地域を巻き込んだイベント開催が重要であると考えています。

2. 「井尻FESTIVAL」を開催

【企画ブース】

- ・未来の井尻ステーション・IJIRI THEATER・愛媛ジュース蛇口販売・関西鉄板焼き
- ・イタリア留学生によるピザ窯・団子汁の販売・わくわくクリスマス图画工作
- ・飲食出店（まぜそば・おでん・牛すじ煮込み サンドウィッチ）



企画ブースの様子

【ステージ】

- ・弾き語り・マジック（手品）・ジャグリング・キッズダンス・詩吟・井尻クイズ・盆踊り



3. 効果があったと思われること

- ・2024年12月、ふれあいマルシェの来街者：約210名
- ・2025年12月、井尻FESTIVALの来街者：約800名（※前年比：約380%）



ステージの様子

4. 来街者の声・会員さんの声

組合員から「企画立案した学生にとっては地域課題を実体験として学ぶ機会となり、今後の学生生活に活かしてほしい」などの前向きな言葉をいただきました。

5. 反省点や今後の取り組み

地域に住む学生と商店街が協力してイベントを開催することは、経済的効果だけでなく、人・アイディア・関係性を循環させる持続可能な地域づくりにつながる点で、大きな波及効果がある取組みであると感じています。

また、初めての試みということで、準備段階や安全性等の面において、今後改善する部分もありますが、学生と地域課題解決のパートナーとして長期的な地域活性化が期待できると考えています。